

各位

会社名 日本コンセプト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松元孝義  
(コード番号: 9386 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役 若園三記生  
(TEL. 03-3507-8812)

### 2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月14日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

2023年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,000	2,670	2,580	1,728	124.61
今回修正予想 (B)	18,000	3,208	3,413	2,370	170.90
増減額 (B-A)	0	538	833	642	—
増減率 (%)	0.0	20.1	32.3	37.2	—

#### 修正の理由

中国のゼロコロナ政策撤廃後も世界の化学品市況は悪化した状態が継続し、日本からの輸出も厳しい状況が続きましたが、第3四半期に入ると半導体不足を理由に減少していた自動車の生産も回復したうえ、円安により日本の製品の競争力が改善したことから日本からの輸出は増加に転じております。

当社グループの国際輸送売上は前年同期を下回ることになりましたが、タンクコンテナの特色を活かした貨物の保管や加温等の附帯サービスに加え2024年のドライバー不足問題が来年4月に迫るなか、モーダルシフトの活用、更に当社全国8か所の支店を活かしたSTOCK & DELIVERYの提案による長距離輸送の削減提案を推進するなど従来の国内輸送形態からの変更案件の獲得に注力いたしました。また、海上運賃の低下により売上原価が先行して低減したことや1ドル=125円を想定していた為替相場が一時は151円を上回る大幅な円安で推移したことから、米ドル建てで提示するタンクコンテナにかかる邦貨換算後の売上高が嵩上げされたうえ為替差益を126百万円計上したことから、当社の第3四半期連結累計期間の営業利益・経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初の予想を大幅に上回るものとなりました。

今後についてもドル高・円安の状況が継続することが予想されることに加え、営業活動を通じて入手した顧客情報をもとに、第3四半期までの累計額に今後見込まれる取扱数量に基づいて算出した売上と利益を反映し、営業利益・経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(注) 上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上